

漁港は魚の保育園



漁港漁場月報のバックナンバーは左のQRコードから読むことができます

漁港漁場月報

令和6年11月15日発行
毎月1回15日発行
公益社団法人 全国漁港漁場協会
発行人 高吉晋吾
東京都千代田区神田鍛冶町3-6-7
ウンピン神田ビル2階
電話 東京(6206)0066
ホームページ http://www.gyokou.or.jp/
定価 1部 70円 (会員の購読料は会費の中に含む)

魅力ある水産業を次世代へ

第73回全国漁港漁場大会

東京で開催、全国から1300人参加

第73回全国漁港漁場大会(主催)公社全国漁港漁場協会、後援)東京都、東京都漁業協同組合連合会、東京都漁港漁場協会、協賛)一財)漁港漁場漁村総合研究所(社)水産土木建設技術センター、全国漁港海岸防災協会)が10月24日に東京都千代田区の東京国際フォーラムで開催された。来賓として

舞立昇治農林水産大臣政務官、滝波宏文参議院農林水産委員長、山本順三漁港漁場漁村整備促進議員連盟幹事長、坂本雅信全漁連会長、枝元真徹大日本水産会会長らが出席したほか、国会議員も駆けつけた。全国から関係者約1300名が集まり、漁港漁場整備長期計画の着実な実行に向けて一致団結した。

挨拶した。



挨拶する高吉会長

第73回 全国漁港漁場大会



全国から多くの関係者が集まった会場の様子

漁港機能の再編・強化と
産地環境の変化に対応した漁港整備
漁港の持続的発展
漁港・漁村・海岸の持続的発展
水産業と漁村の持続的発展
漁港の整備と漁村の持続的発展
漁港・漁村・海岸の持続的発展
水産業と漁村の持続的発展

舞立昇治農林水産大臣政務官、滝波宏文参議院農林水産委員長、山本順三漁港漁場漁村整備促進議員連盟幹事長、坂本雅信全漁連会長、枝元真徹大日本水産会会長らが出席したほか、国会議員も駆けつけた。全国から関係者約1300名が集まり、漁港漁場整備長期計画の着実な実行に向けて一致団結した。

挨拶した。

満場一致で議案を採択

提言

記

令和六年十月二十四日

本大会は漁港・漁場・漁村の総合的整備を図るために全国の漁港漁場関係者が参集して開催されており、昭和24年の第1回開催以来、73回を迎えた。漁港漁場整備長期計画を着実に実行するために、漁港・漁場・漁村整備の促進に係る関係諸施策の積極的な推進を図る必要がある。このため、全国の漁港漁場関係者の総意をもつて提言が採択され、その表現に向けて政府、国会等に対する要請活動を行うことが決議された。

我が国の水産業は、国民に多種多様な良質な水産物を提供するとともに、健康的で豊かな食文化を支え、地域経済の発展にも大きく寄与してきました。近年は国際的な緊張の高まりを受け、水産物を含む食料安全保障の重要性が再認識されています。また、国内での水産物消費の減少とは対照的に、海外では水産物需要が増加しており、急回復しているインバウンドの観光客にとり、日本の新鮮な水産物を味わうことは大きな楽しみとなっています。しかしながら、水産業は、海水温の上昇等による主要魚種の不漁、漁獲される魚種の変化や磯焼けの拡大、漁業就業者の減少と高齢化の進展など厳しい状況にあります。加えて、燃油・資材・餌料の価格高騰、ALPS処理水の海洋放出に伴う禁輸措置等への対応にも迫られています。また、本年一月一日に発生した能登半島地震をはじめ、毎年のように地震や台風等による自然災害が発生し、漁業地域の安全を脅かしています。このような状況を克服していくためには、輸出拡大等による水産業の成長産業化に向けた品質衛生管理の向上や戦略的な養殖業の推進等のための漁港機能の再編・強化、フルーカホンとしても期待される藻場の保全・創造や海洋環境の変化に対応した漁場の整備、漁業地域の防災・減災対策や施設の長寿命化対策による安全・安心の確保を進めなければなりません。また、豊かな自然と漁村ならではの地域資源の価値と魅力を活かした海業の全国展開を推進し、漁村に賑わいと収入を生み出すことが必要です。私たちは、これらもこれらの取り組みを続け、水産業を魅力ある産業として、次世代に着実に継承させ、漁村を豊かで安心して暮らせる場とするため、努力してまいります。このためには、漁港漁場整備長期計画等に位置付けられた漁港・漁場・漁村・海岸の整備や漁村の活性化のための対策が早急かつ着実に実施されることが必要であり、左記の事項の推進とそとの令和七年度予算の確保を強く提言いたします。

会場では恒例となっている漁船海難遭難啓発委員会による水色の羽根募券が行われた。また、展示ブースとして漁港漁場関係団体・企業の取り組み紹介が行われた。

祝辞 一般社団法人 大日本水産会 会長 枝元 真徹



全国の漁港・漁場関係者が集う「第73回全国漁港漁場大会」の開催、誠にありがとうございます。おめでとうございます。はじめに、能登半島地

巡る状況は、燃油など各種資機材や餌飼料、人件費の高騰、人材の不足、海洋環境の変動による磯焼けの拡大、主要魚種の不漁など、課題が山積しております。さらに、能登半島地震からの復旧、復興は道半ばであり、また中国による水産物輸入規制の影響で輸出も伸び悩むなど、成長産業や持続可能性の確保にとって正念場でもあります。他方、消費が減少しているとはいえ、日本人はお魚が好きですし、世界の需要も拡大する中、我が国には各地に多様な食文化が根付いている強

みがあります。そのような状況にあつて、水産業界の川上から川中そして川下及び全国漁港漁場協会ははじめ関連する産業者を会員に持つ大日本水産会としましては、業界最大の使命である「国民に対する水産物の安定供給」を果たし食料安全保障に寄与していくため、会員一丸となつて、経営の発展、生産基盤の維持・強化に取り組みで行かなければなりません。本日お集まりの漁港・漁場の関係の皆さんにおかれましては、今大会で提言される「漁港機能の

祝辞 全国漁業協同組合連合会 代表理事会長 坂本 雅信



全漁連の坂本でございます。第73回全国漁港漁場大会の開催にあたりまして、JFグループを代表して、一言ご挨拶を申し上げます。本年もこの東京で多数の漁港・漁場関係

ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。地震の隆起などにより、漁港は甚大な被害を受けましたが、漁港・漁場の関係者の皆様のご尽力により、冬場の漁期に向け、着々と復旧作業が進められております。皆様方のご尽力に対し深く敬意を表しますとともに、JFグループといったしまでも、役職員一丸となつて引き続き支援をして参る所存であります。さて、皆様ご承知のとおり、国際情勢の緊迫化や国内外における経済情勢の変動など、昨今の社会環境は大きく変容しております。我々が直面する課題、

「海洋環境の激変等」につきましても、前浜での魚種の変化や漁獲量の減少など、漁業に大きな影響を及ぼしております。我々はこの激変する海洋環境に的確に対応し、水産資源の持続的な利用を実現する必要があります。そのためには、引き続き適切な資源管理の実施に加えて、これまで漁業者や漁協関係者が担ってきた「漁場・干潟の保全活動」をはじめとする、海洋環境回復型の取組みを強化し、継続していくことが極めて重要となります。我々漁業者の使命は、国民に安全で安心な水産物を届け続けることであり、その使命を果た

し続けるためには、日本の豊かな海を取り戻し、漁業者の経営基盤を強化していくことが肝要であります。その前提として、我々の生産基盤である「漁港・漁場」の機能をより強固なものにしていくことは不可欠であります。今年度は「漁港漁場整備長期計画」の取組み3か年目であり、折り返し議論される提言を契機とし、漁港・漁場の発展のため、本日お集まりの関係者の皆様とともに、漁港関連事業を推進していく所存であることを表明し、お祝いの言葉とさせていただきます。

議長選出



議長に選出された佐藤政俊福岡県漁港漁場協会会長 (福岡県漁業協同組合連合会代表理事会長)

提言朗読



提言を朗読する岩手県宮古市重茂漁協女性部の中村菜摘さん

提案理由説明



提案理由を説明する鳥取県港海・漁協会の伊達憲太郎会長

ただいま、ご紹介を頂きました。鳥取県港海・漁協会の会長を務めております。境港市長の伊達憲太郎でございます。

はじめに、能登半島で1月に発生した地震、9月の豪雨、また全国の台風等によって犠牲になられました方々に謹んで哀悼の意を表しますと併に、被災された多くの皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

本日、ご出席のご来賓の方々を始め、ご参集の皆様におかれましては、常日頃から水産業の振興と活力ある漁村づくりにご尽力頂いている事に、心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

本大会での提案理由の説明に先立ち、鳥取県・境港市の現状に若干触れたいと存じます。鳥取県は、中国地方の北東部に位置し、海岸線の約6割は鳥取砂丘に代表される砂浜海岸です。

東部では、夏に鳥取砂丘沖にてイカ釣り船の漁火が美しく輝き、西部には秀峰大山がそびえ、豊かな栄養分を海にもたらしてくれています。日本海の深層には、「日本海固有冷水」と呼ばれる水塊があり、それら「対馬暖流」が絡み合うことから、餌が豊

富に存在し、多種多様な水産物が集まっております。対馬暖流が影響する水深100メートルまでの表層ではイワシ類、サバ類がまき網漁業によって漁獲され、沖合1カ所の漁業によってスルメイカが漁獲されています。初夏には境港にクロマグロが水揚げされ、生のクロマグロでは全国トップクラスの水揚げ量を誇ります。

日本海固有冷水が影響する水深200メートルから海底付近では、松葉がにやハタハタなどが沖合底びき網漁業で漁獲されています。水深800メートルを超える深海底では、かたかな漁獲によってペンズワイガニが漁獲され、長年水揚げ量日本一となっております。

沿岸には、大山の火山岩からなる天然礁もあり、刺網、一本釣、小型底びき網、潜水漁業などにより、シラス、サワラ、イワカキ、シロイカなど豊富な海の幸を漁獲し、食卓に届けています。

平成25年度からキンザケ養殖が事業化され、秋から冬にかけて多大な雇用を生み、地域の活力にも大きく貢献しています。

また、漁遊休地への企業誘致を目的として、地下水を利用した養殖技術の開発を行っています。陸上養殖は地域に利益を生むだけでなく、女性や高齢者にも働きやすいく、多くの雇用を生み、IJUターンにつながり、浜の活

力の増大に大きく寄与しています。一方、漁場環境におきましては、海洋環境の変化に伴い、ムラサキウニが発生し、藻場の減少が進んでいることから、藻場の造成、保全の活動を通じて豊かな海の再生が急務となっております。

次に境港市についてですが、本市は鳥取県西端に延びる弓ヶ浜半島の北端に位置します。本市には特定第三種漁港である境漁港があり、古くから天然の良港として利用され、日本海沖合漁業の中核基地として水産物の生産・流通の拠点を担ってきました。

現在、高度衛生管理型市場整備を進めており、今月から是全魚種において、高度衛生対応となり、資源回復の取組により、イワシ等の漁獲量が回復傾向にあります。冷蔵・冷凍施設については、施設増設、更新が進んでいる現状から、資源回復による漁獲量の増加に対応するための背後地の整備が求められています。

境漁港では地震・津波対策として、岸壁で地盤改良、受電施設の屋上設置、避難場所として活用できる屋上駐車場を整備しました。本年1月には、沿岸域にも津波が到達したところであり、他の港においても早急な対策が必要不可欠です。

県内の漁港関連施設は、古い施設が多く、老朽化が進行しており、漁業者も減少傾向にあることから、漁港施設の統廃合や有効活用を検討する時期が来ています。

近年、豪雨や台風などによる自然災害が頻発し、大規模な地震・津波の発生も懸念されており、防災・減災対策、老朽化した施設の長寿命化が急がれるところです。

漁村の活性化では、漁村レストランや朝市など漁業者が様々な「海業」を実施していますが、担い手不足が顕著であり、民間活力の導入が必要となります。

このような「鳥取県及び境港市」の状況などを踏まえ、付議議案「令和7年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」について、提案理由を説明いたします。

我が国の水産業、漁村は、国民に多種多様な良質な水産物を提供する役割に加え、健康的で豊かな日本の食文化を支え、地域経済の発展にも寄与してきました。

他方、水産業、漁村は、環境の変化による主要魚種の不漁、魚種の変化や獲量の拡大、漁業就労者の減少と高齢化など厳しい状況に減少した原油・資材・燃料の価格高騰、禁輸措置などへの対応も迫られています。

このような中、我が国の水産物に対する国民の信頼に応えるとともに、水産物の輸出拡大を図っていくためには、沿岸環境の保全・再生や漁場整備などの資源回復対策と漁港の流通機能、衛生管理機能の高度化対策が急務となっております。

また、近い将来南海トラフ地震を始めとした大規模な地震・津波の発生が懸念されており、地球温暖化等により、これまで経験したことのない台風、集中豪雨等が多発するなど、自然災害が激甚化しております。

国地方とも厳しい財政状況のなか、地方や水産業への社会資本投資が乏しく、誠に厳しいものがあります。水産業を魅力ある産業として次世代に継承し、豊かで安心して暮らせる漁村地域を形成して、水産業や漁村地域が日本の社会経済において果たしている重要な役割を引き続き果たせるようにするための喫緊の課題としてここに強く要望し、提案するものであります。

皆様の満場のご賛同をお願いいたします。提案理由の説明を終わります。ありがとうございます。

を早急に進めるとともに、老朽化した施設の長寿命化を急がなければなりません。我々も、水産業の成長産業化に必要な漁港漁場整備の推進、防災・減災対策や長寿命化対策、いわゆる「海業」の推進による漁村の活性化などに意欲的に取り組んで参りますが、こうした取り組みを更に展開していくためには、国全体の力強い支援が必要不可欠であります。

夢と活力のある漁港漁村を次世代へつなぐ

意欲的な取り組みの現地報告

第73回全国漁港漁場大会では、付議議案「令和7年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件」に関連し、意欲的な取り組みの現地報告として3件の事例発表が行われた。

事例報告

宮城県気仙沼漁港

発表者 菅原茂 気仙沼市長

「水産クラスターの進化～復興のその先へ～」

事例報告

兵庫県播磨灘地区

発表者 山下正晶 兵庫県農林水産部水産漁港課長

「兵庫県の漁場整備～第2の鹿ノ瀬構想と豊かな海の実現に向けた取組～」

漁船海難遺児育英会が募金活動

全国漁港漁場大会では、「漁船海難遺児育英会」の募金活動が恒例となっている。今大会においても(公財)漁船海難遺児育英会が大会会場において募金活動を行った。多くの大会参加者が募金活動に賛同し、「水色の羽」を胸に付けて大会に臨んでいた。

事例報告

長崎県三浦湾漁港

発表者 犬束ゆかり (有)丸徳水産専務

「海の困りごとを“あきない”に～海業～」

展示ブース出展一覧表

Table with 3 columns: 番号, 企業・団体名, 出展概要. Lists 13 exhibitors including 一般財団法人 漁港漁場漁村総合研究所, 株式会社 安部日鋼工業, etc.

13の企業・団体がブース出展し、豊かな漁港漁村を次世代へつなぐための取り組みを紹介した。



第73回全国漁港漁場大会来賓一覧

(順不同、敬称略)

出席された国会議員

参議院議員

Table with 2 columns: 氏名, 会派. Lists members like 井上 義行, 進藤 金日子, etc.

代理出席

衆議院議員

Table with 2 columns: 氏名, 会派. Lists 江渡 聡徳.

参議院議員

Table with 2 columns: 氏名, 会派. Lists members like 石井 浩郎, 猪口 邦子, etc.

第73回全国漁港漁場大会で漁港視察を実施

第73回全国漁港漁場大会を挟み、10月23日、25日の2日間に茨城県、千葉県、神奈川県、神奈川県の漁港視察を実施した。視察には全国から大会に参加した協会のうち15協会、延べ456名が参加した。

が、現在はカツオ一本釣り等の他の漁港から入港する廻船と、地元小型船による漁業が中心。隣接する那珂湊おさかな市場は、県内外から年間100万人以上の買い物客で賑わう。ひたひたなか市漁村センターで茨城県の漁業と漁港の概要、ひたひたなか市の魚食普及の取り組みなどについて説明を受けた。(2協会31名が参加)

が、現在はカツオ一本釣り等の他の漁港から入港する廻船と、地元小型船による漁業が中心。隣接する那珂湊おさかな市場は、県内外から年間100万人以上の買い物客で賑わう。ひたひたなか市漁村センターで茨城県の漁業と漁港の概要、ひたひたなか市の魚食普及の取り組みなどについて説明を受けた。(2協会31名が参加)

が、現在はカツオ一本釣り等の他の漁港から入港する廻船と、地元小型船による漁業が中心。隣接する那珂湊おさかな市場は、県内外から年間100万人以上の買い物客で賑わう。ひたひたなか市漁村センターで茨城県の漁業と漁港の概要、ひたひたなか市の魚食普及の取り組みなどについて説明を受けた。(2協会31名が参加)



茨城県を視察する様子



千葉県を視察する様子。千葉県漁連の坂本雅信会長(全漁連会長)が挨拶した



神奈川では「10000小田原」を視察した

が、現在はカツオ一本釣り等の他の漁港から入港する廻船と、地元小型船による漁業が中心。隣接する那珂湊おさかな市場は、県内外から年間100万人以上の買い物客で賑わう。ひたひたなか市漁村センターで茨城県の漁業と漁港の概要、ひたひたなか市の魚食普及の取り組みなどについて説明を受けた。(2協会31名が参加)

第73回全国漁港漁場大会に祝電・メッセージを下された方々

(順不同、敬称略)

Table with 2 columns: 自由民主党総裁 内閣総理大臣, 財務副大臣 参議院議員, 参議院議員. Lists 石破 茂, 横山 信一, 宮崎 雅夫.

6年3月に完成した高度衛生管理型荷さほき所を視察した。(3協会137人が参加)

が、現在はカツオ一本釣り等の他の漁港から入港する廻船と、地元小型船による漁業が中心。隣接する那珂湊おさかな市場は、県内外から年間100万人以上の買い物客で賑わう。ひたひたなか市漁村センターで茨城県の漁業と漁港の概要、ひたひたなか市の魚食普及の取り組みなどについて説明を受けた。(2協会31名が参加)

2024 漁港漁場漁村海岸写真コンクール

特選1席

農林水産大臣賞



入賞作品決定!

(公社)全国漁港漁場協会と全国漁港海岸防災協会の共催、(財)漁港漁場漁村総合研究所と(社)水産土木建設技術センター、(社)全日本漁港建設協会の協賛、水産庁後援による2024漁港漁場漁村海岸写真コンクールの入賞作品が、第73回全国漁港漁場大会の場で発表された。

同コンクールの作品審査は9月4日に行われ、入賞作品は、パンフレットにまとめられて大会参加者に配布された。

入賞作品は、特選1席(農林水産大臣賞)1点、特選2席(水産庁長官賞)1点、特選3席(全国漁港漁場協会会長賞、全国漁港海岸防災協会会長賞、漁港漁場漁村総合研究所理事長賞、水産土木建設技術センター理事長賞、全日本漁港建設協会会長賞)各1点、入選6点、佳作12点で、入賞者は別表の通り。

なお、入賞作品は全国漁港漁場協会のホームページに掲載しています。

特選2席

水産庁長官賞



特選3席

全国漁港漁場協会会長賞



特選3席

全国漁港海岸防災協会会長賞



特選3席

漁港漁場漁村総合研究所理事長賞



特選3席

水産土木建設技術センター理事長賞



2024 漁港漁場漁村海岸写真コンクール 入賞者一覧

入賞	賞名	題名	氏名
特選1席	農林水産大臣賞	つながる友情	有田 勉
特選2席	水産庁長官賞	気嵐の中の出港	佐藤 剛士
特選3席	(公社)全国漁港漁場協会会長賞	短めく漁港	小椋 利昭
特選3席	全国漁港海岸防災協会会長賞	元気の出る浜辺	横山 彰
特選3席	(一財)漁港漁場漁村総合研究所理事長賞	海辺の祭	渡邊 俊幸
特選3席	(一社)水産土木建設技術センター理事長賞	夕焼け散歩	島村 直幸
特選3席	(一社)全日本漁港建設協会会長賞	帰港	窪田 光雄
入選		鵜の居る海岸	高木 志津夫
入選		波打ち際のエール	山中 正光
入選		春のひじき漁	大山 浩樹
入選		祭りの漁港	伊藤 良一
入選		「小友祈願祭」	川崎 信義
入選		初日の出	伊藤 孝司
佳作		舟の下の笑顔	倉本 一成
佳作		餅まき	井上 悟
佳作		静謐	田中 輝未
佳作		北三陸ウニ漁	カマタニ ヒサト
佳作		夏の思い出	横山 雪子
佳作		穏やかな夕暮れ	本多 和之
佳作		収穫	浅山 昇
佳作		南大東漁港 夏の風景	牧野 清人
佳作		カツオ選び	柏館 健
佳作		お祭り 海の若人たち	猪狩 守司
佳作		海底清掃	谷口 常雄
佳作		佇む	山下 亜実花

特選3席

全日本漁港建設協会会長賞



農林水産大臣に江藤拓氏

第2次石破内閣 自民党漁港議連所属



江藤大臣

第2次石破内閣が11月11日発足し、農林水産大臣に自民党総合農林政策調査会長の江藤拓衆議院議員（高崎2区）が就任した。農相として2度目の入閣となる。副大臣に

江藤大臣は父である故江藤大正、滝波副大臣、山本政務官は自民党漁港漁場漁村整備促進議員連盟所属。江藤大臣は父である故江藤大正、滝波副大臣は平成6年

は滝波宏・江藤隆衆議院議員の秘書を経て、2003年に参議院議員と任じ、現在8期目。自民党農林部会長や総理大臣補佐官を歴任。2019年に安倍内閣で農林水産大臣として初入閣した。2021年に自民党総合農林政策調査会長、1960年7月生まれ、宮崎県出身の64歳。成城大学経済学部卒。東京大学法学部卒、大蔵省入省、10年シカゴ大学大学院修了、17年米国公認会計士（USCPA）試験合格。同年7月財務省主計局主査、21年スウェーデン大使館参事官、23年財務省広域客員。24年財務省を退職し、25年に参議院議員初当選（福井県）。経済産業大臣政務官、自民党水産部会長を歴任。令和5年より現職。昭和46年10月生まれ。福井県出身。山本政務官は学卒後、住友銀行勤務を経て旅行観光業に約20年間従事。明治日本の産業革命遺産の世界遺産登録に関わる。平成31年三重県議会議員初当選（三重県）。祖父は元自治大臣の故・山本幸雄氏。昭和42年10月生まれ。三重県出身。平成2年神戸大学法学部卒、平成8年米・オハイオ州シカゴ大学大学院修士課程修了。

漁港大会の提言携え要請

10月24日に都内で開催された第73回全国漁港・漁村・海岸整備推進協議会（令和7年度漁港・漁村・海岸整備推進協議会）の提言を、都道府県漁港協会、各都道府県漁業協会の会長、全国漁業協同組合連合会会長の連名で、政府及び各都道府県の

地元選出国会議員等に働きかけ、提言事項の実現を図ることを決議。今年度の幹事会を中心として、都道府県漁港協会が地元選出国会議員に対して要請する「個別要請」を同日実施した。

農林水産省では、自立型漁港協会の設立、農林水産大臣政務官はじめ、森健水産庁長官、田中郁也漁港整備部長、長官水産庁幹部に面会し、提言を手渡し、漁港・漁村・漁村整備の早急で着実な実施に向けて予算確保を求めた。



農水省では自立型漁港協会に面会した

財務省では富岡和幸主計局主査に面し提言の実現を訴えた。国土交通省への要請は後日実施し、駒田義徳国土政策局離島振興課長、遠山英子特別地域振興官に面会した。

【農林水産省】北海道漁港協会が、高橋昌幸会長（神恵内村長）、同新谷昌也副会長（網走漁業協同組合代表理事組合長）、同加藤健司専務理事、山形県漁港協会が、菅川治会長（鶴岡市長）、同本間昭志副会長（山形県漁業協同組合代表理事組合長）、同加賀山祐専務理事（山形県庄内総合支庁産業経

役員会と臨時総会を開催

漁港漁場漁村整備促進議員連盟

鈴木俊一 新会長を選任



挨拶する鈴木新会長（左から2人目）

漁港・漁場・漁村の整備促進に決意

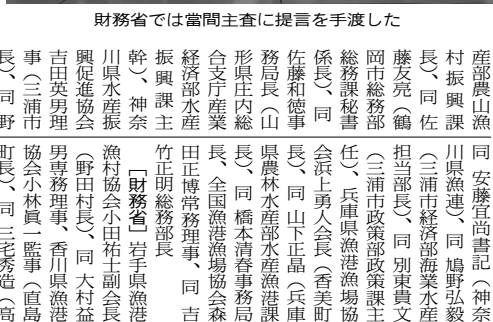
漁港漁場漁村整備促進議員連盟は11月5日（火）午後2時30分から参議院議員会館会議室で緊急役員会を開催した。議員連盟の役員選出の結果を受け、院議員選挙の結果を受け、開選されたもので、衛

議員連盟は、11月14日（水）正午から自由民主党本部山崎議員の参事室で、臨時役員選出の結果を受け、院議員選挙の結果を受け、開選されたもので、衛

議員連盟は、11月14日（水）正午から自由民主党本部山崎議員の参事室で、臨時役員選出の結果を受け、院議員選挙の結果を受け、開選されたもので、衛

議員連盟は、11月14日（水）正午から自由民主党本部山崎議員の参事室で、臨時役員選出の結果を受け、院議員選挙の結果を受け、開選されたもので、衛

財務省では富岡和幸主計局主査に面し提言を手渡した



財務省では富岡和幸主計局主査に面し提言の実現を訴えた。国土交通省への要請は後日実施し、駒田義徳国土政策局離島振興課長、遠山英子特別地域振興官に面会した。

【参議院議員】青木一彦、井上義行、石井正弘、猪口邦子、江島謙、梶原久一、加田裕之、加藤明良、小林一大、白坂正紀、進藤香子、末松信介、長峯誠、藤木貞也、船橋利実、舞野昇治、三宅伸吾、宮崎雅夫、山下雄平、山本啓三、山本佐知子、山本順三、若林洋平

